

Maintenance

もっと手軽に日々の整備作業を行いやすく



■ 多機能充電モード

自動充電や均等充電、予約充電と三つの充電モードを搭載。また、現在の充電状況を液晶ディスプレイに表示するので、充電管理をスムーズに行えます。



自動充電

充電プラグをコネクタに差し込むと自動的に充電を開始します。(定置式充電器は除く)

均等充電

自動充電時に10回に1回、バッテリーセルの電圧が均等になるように充電を行います。

予約充電

オペレータの希望する時刻に充電を開始。複数車両充電時に開始時間をずらして電力ピークを分散できます。



■ 充電監視システム オプション

充電中のトランス部と充電プラグ部の状態をシステムで監視。万が一発火の危険性のある異常温度を検知した場合、充電を速やかに停止し警告音を鳴らしてお知らせします。

※本システムは補助機能です。全ての状況化での火災を防止するシステムではありません。

■ 取手付き充電プラグ

持ち手がついて抜き差しが容易になり、コネクタの差し込み不良などによるプラグ破損や焼損を防ぐ取手付き充電プラグを採用。



動画で CHECK!



取手付き充電プラグ

■ バッテリー前引き出し仕様

運転席のロック解除ペダルを踏みながらリーチレバーを操作すると、バッテリーを前に引き出せます。保守と点検および交換作業が楽に行えます。また、バッテリーが前方へ引き出された状態のときは一切の動作をロック。車両操作を誤って行っても動かないので、メンテナンス中の安全を確保しています。

動画で CHECK!



左足でフックを踏み込みます

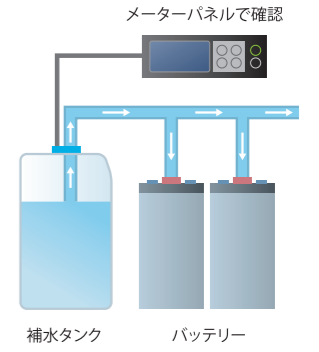
リーチレバーで前に引き出します

■ 自動補水装置「補水くん」 オプション

充電器のスイッチをONにすると、ポンプ内蔵の補水タンクから必要量の精製水を自動的に補水。作業時間を大幅に短縮し、バッテリーに大きなダメージを与える補水忘れの心配もなくなります。



動画で CHECK!



Point 1 補水時間を大幅に短縮

稼働時間が長く、バッテリー容量の大きい車両ほど、補水作業が大変です。「補水くん」なら、補水タンクに精製水を補給するだけです。

Point 2 補水忘れを防止

補水忘れはバッテリーに大きなダメージを与えます。「補水くん」なら必要に応じて補水するので安心です。(補水タンクへの給水は必要です)

Point 3 二重の過補水防止装置付で安心

- 補水開始後、補水管の圧力上昇を検出して補水を停止します。(補水完了後自動的にストップします)
- 最長7分のバックアップタイマーで圧力スイッチ故障時の過補水を防止します。(学習機能付)

LVS

フォークリフト稼働管理システム オプション

見えない情報を数値化し、物流現場の実態を見える化

お客様の物流現場改善をサポートします。

LVS(Logistics Vehicle Support)とは、フォークリフトに専用の通信機器を取り付けることで、各拠点で保有している車両ごとの走行距離や荷役実績データをクラウドサーバー上で保存、管理することができるシステムです。目には見えない情報を数値化することで各車両、各拠点の稼働状況を把握し、その情報を元に物流現場改善へ繋げることができるオプションです。

動画で CHECK!



事例をご紹介します

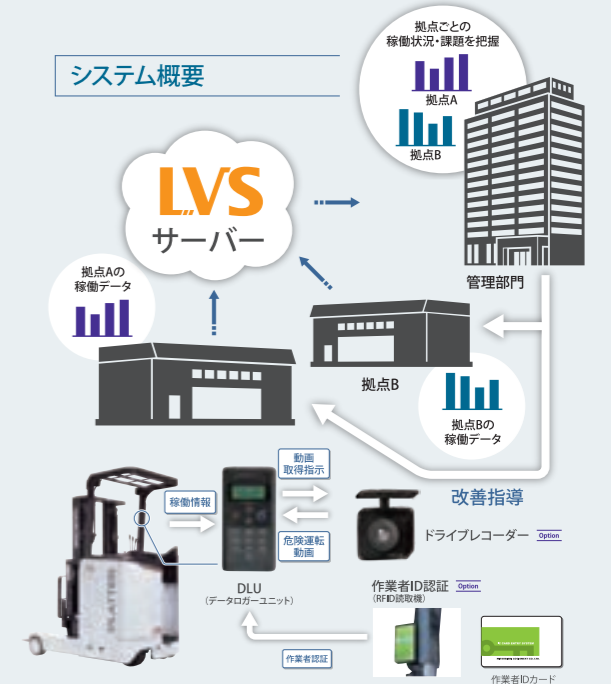
取得データ一覧

- フォークリフト別稼働状況一覧
- 運転者別稼働状況一覧
- フォークリフト別日報月報
- 運転者別日報月報
- 危険操作状況一覧
- バッテリー状況一覧



システム画面例

システム概要



生産性の向上

車両の稼働時間や走行距離のデータから、車両の待ち時間やムダを把握し、拠点ごとに適正な車両台数を把握することができます。

安全性の向上

危険運転回数をカウントし運転量を把握することで、安全運転の啓蒙・指導を行うことができます。また、オプションのドライブレコーダーと連携させることで事故発生時の原因究明に役立てることができます。

メンテナンス性の向上

稼働情報から使用頻度の高い車両に対して予防的な保守点検を実施することで、故障率の低減に貢献します。また、適切なバッテリー管理を行うことができます。